



# 虹ヶ丘

<https://kawasaki-edu.jp/2/511/nizigaoka/>

## 「おかげさまで」

校長 井上 恵子

ミラノ・コルティナ冬季五輪が終わりました。選手のインタビューでは、「みなさんの支えがあつて…」や「応援してくれている人のおかげで…」という言葉がたくさん聞かれました。もちろん、4年間の選手の努力の賜物なのですが、そのように言っただけだと応援した甲斐があるというものです。次はWBCを楽しみにしています。

先日、王禅寺中央中学校区地域教育会議主催の「早野で冬の自然を楽しむ会」に参加した時に、早野聖地公園里山ボランティアの方から、「ほら、ふきのとうだよ。」といただきました。手に春の感触が広がりました。いよいよ春到来です。

6年生のはばたきの会が終わりました。6年生はこれから卒業式の準備と学習のまとめに入ります。卒業まで14日です。はばたきの会での6年生は一人一人が輝いていて素晴らしかったです。掲示物の書き初め、書写の学習で書いた「旅立ちの時」と添える言葉カードの内容を読んで、一人一人の思いを感じました。等身大の自分を再掲示。図工の作品「未来のわたし」を英語で作品解説をするというびっくりの展開でした。体育館全体は、今までの学びとそれを支えてくれた保護者の方々への感謝に包まれていました。



「続く足跡」がテーマの会は、和太鼓演奏「屋台囃子」での幕開けでした。「恵比寿・三ツ陣」の新作にも取り組みました。威勢のよい掛け声「We are YUMERYU!」「My BestでLove&Peace」「虹のしあわせ ずっと続くよ どこまでも」。力強く、心ひとつとなって演奏していました。他には、群読 谷川俊太郎の「生きる」、言えなかったありがとう（スピーチ）、合奏「情熱大陸」がありました。合奏には先生たちも参加し、共同体となっていました。一体感が虹ヶ丘らしいです。エンディングは、きれいな歌声を響かせての合唱「変わらないもの」でした。幕間のショートコントならぬ「ショート劇」が、笑いを誘いました。

創立50周年記念式典で披露したスピーチには多くの方々からお褒めの言葉をいただきましたが、このはばたきの会でも一人一人のスピーチがすばらしかったです。国語で学んだことの集大成でした。目的意識・相手意識をもつ。まず、感謝を「誰に」伝えるか、何をしてもらったかの思い起こしから始まり、話の構成を考え、原稿を書くかメモをつくって話すかは選択。このような準備をしていたようです。スピーチは、伝えたい内容が一番大事です。聞いていてぐっとくるのは、その子の、その子しか話せない内容だからです。もう一つ大事なものは、声・表情・しぐさ・間です。子どもたちが話しているときの表情やしぐさを見ながら話を聞いていると、その子を理解できた感じがします。スピーチを聞いていてとても幸せな気持ちになりました。

今の6年生はまさに、学校運営方針「にじいろプラン」に掲げた「自立」「協働」「創造」を具現化した姿です。これまでの6年間、目標をもち、振り返り、課題をまた目標とし、努力する学びを行ってきた成果だと思います。成長したなあ嬉しい気持ちになります。他学年は6年生に憧れ、感謝し、6年生に「ありがとう」の気持ちを伝えています。子どもたち同士のかかわりが、子どもを成長させています。

1年間、虹ヶ丘小学校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。創立50周年記念の年、たくさんの人・出来事との出会いがありました。みなさまのおかげで、よい教育ができたこと感謝しております。ありがとうございました。

「3月は去る」と言われています。子どもたちのために一刻一刻を大切に過ごしてまいります。